

# 経済波及効果分析ツールの利用方法の概要

1 分析の対象や目的に合わせて使用するツールを選択します。

## (1) 汎用とイベント観光分析用

通常は汎用のツールを使用します。イベントの開催経費や開催に伴う観光客の消費による経済波及効果を算出したい場合は、イベント観光分析用を使用します。

## (2) 地域内表と地域間表

地域内表版では東京都内への経済波及効果、地域間表版では東京都内及び東京都外（その他地域）への経済波及効果が算出されます。

例えば、観光客の来訪が見込まれるイベントの開催について、東京都内への経済波及効果を算出したい場合は「イベント観光分析用」の「地域内表版」を使用します。

2 入力

支出明細書など、消費・投資需要額の分かる資料の各項目を、東京都産業連関表の部門分類表にあてはめます。ここでは、汎用・地域内表版への入力例を紹介します。

都内工場で生産された衣料品を展示販売（卸売業者経由）する場合の経済波及効果を考えます（本事例は架空のものです）。  
会場には「飲食店コーナー」と多摩の生産者による「農産物直売コーナー」を設けるとします。この場合、例えば以下のように入力します。

【新規需要】（入力）

（単位：百万円）

部門番号	部門名	新規需要			
		一般的な都内の消費、投資等		100%都内生産の商品及びサービス	
		購入者価格	生産者価格	購入者価格	生産者価格
		表示 A欄	表示 B欄	表示 C欄	表示 D欄
1	農林水産業				20
2	鉱業				
3	飲食料品				
4	繊維製品			30	
5	パルプ・紙・木製品				
6	化学製品				
34	対事業所サービス				
35	対個人サービス	10			
36	事務用品				

②部門分類表を見ると衣料品は繊維製品。また、都内工場で生産しているものなので、C欄に入力します。

③農産物直売ですから流通経費がかかりません。このため、C欄ではなくD欄に入力します。

①飲食店は一般的な消費で、部門分類表を見ると、対個人サービスに該当、A欄に入力します。

※ 新規需要を賄うために調達される品目の産地の割合や、入力する金額が購入者価格が生産者価格により入力欄が変わります。

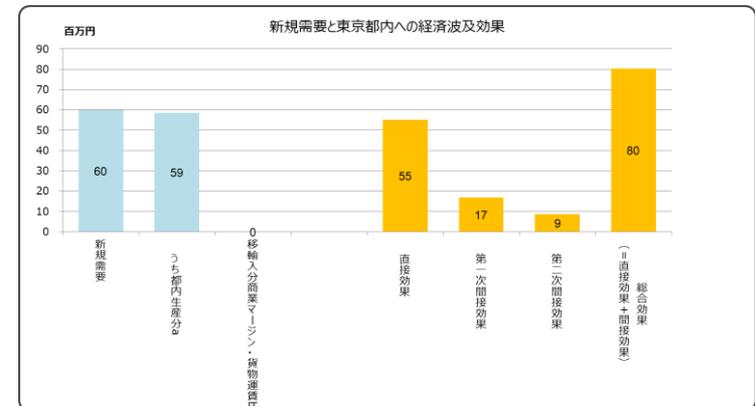
詳細は、ツール内の入力方法をご覧ください。

3 結果の表示（抜粋）

入力をする、自動で分析結果が表形式のほか、グラフ形式等でも表示されますのでご活用ください。

この入力例では、東京都内に直接効果55百万円、第一次間接効果17百万円、第二次間接効果9百万円、総合効果で80百万円が期待されます。

部門番号	部門名	【経済波及効果】（結果）				総合効果	租付加価値 誘発効果 （総合効果）	就業 誘発効果 （総合効果）
		直接効果 （注2）	第一次 間接効果 （注3）	小計	第二次 間接効果 （注4）			
1	農林水産業	20	0	20	0	20	13	3.7
2	鉱業	0	0	0	0	0	0	0.0
3	飲食料品	0	0	0	0	0	0	0.0
4	繊維製品	15	0	15	0	15	4	1.3
5	パルプ・紙・木製品	0	0	0	0	0	0	0.0
6	化学製品	0	0	0	0	0	0	0.0
7	石油・石炭製品	0	0	0	0	0	0	0.0
8	プラスチック・ゴム	0	0	0	0	0	0	0.0
9	窯業・土石製品	0	0	0	0	0	0	0.0
10	鉄鋼	0	0	0	0	0	0	0.0
11	非鉄金属	0	0	0	0	0	0	0.0
12	金属製品	0	0	0	0	0	0	0.0



## ■ 経済波及効果とは

ある産業の需要が増加したとき、取引を通じて他の産業に次々と影響を及ぼす過程のことをいい、「産業連関表」を用いて推計することができます。

## ■ 分析結果について

本ツールによる分析結果は一つの計算例であり、その結果を東京都が保証するものではありません。